

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名： 生活介護事業所 ひかり)

(全体総括)

生活介護から就労継続B型へ移行された方が2名、新たに通所利用された方は2名となり利用人数は変わらなかったが、感染症まん延による数日間の利用休止日や体調や気分によってお休みされる方の人数も増加してしまったことも重なり稼働率は大きく低下してしまった。土曜日の振り替え開所日数も多くは出来ず、挽回にまで至らなかった。
活動内容は前年までの踏襲に留まってしまったが、次年度からは中身を大きく変え、より共生的で利用者や事業所全体が社会参加していけることを目指す。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	利用休止者の通所日が増える	月延べ利用人数	10,360人	9,343人
顧客の視点	印象と内容が楽しそうに見える	年度内新規利用契約人数	7人	3人
内部プロセスの視点	個々の成長や役割が実感できる	個別支援評価のお試し人数	20人	9人
人材と変革の視点	職員全体でプランが策定できる	勉強会・会議回数	5回	4回

決算状況 (4月～3月) 生活介護事業所ひかり

収入	H29	H30
事業活動収入計	106,291,408	91,262,767
施設整備等収入計	0	0
その他の活動収入計	1,056,948	923,218

支出	H29	H30
事業活動支出計	72,670,826	67,602,689
施設整備等支出計	1,819,450	1,447,655
その他の活動支出計	27,835,605	22,596,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	33,620,582	23,660,078
施設整備等資金収支差額	-1,819,450	-1,447,655
その他の活動資金収支差額	-26,778,657	-21,672,782

平成30年度（事業所名：ひかり）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
活動班会議	1月9日 1月16日 2月14日	16:00～ 17:40 16:00～ 17:40 16:10～ 17:10	各班毎	構成メンバー 高桑・真鍋・河村・二川・原田・伊藤・山本・高崎・池野	・各利用者の現状及び支援内容の確認等の打ち合せ ・次月以降の予定の確認
障がいG連絡会	1月17日 2月14日 3月26日	13:30～ 17:00 13:30～ 17:00 13:30～ 17:00	7名 6名 6名	山崎・土岐・旭・土佐・後藤・古島・長田・竹原・土岐・旭・土佐・後藤・長田・土岐・旭・土佐・後藤・古島・長田	・障がいG各事業所からの委員会報告、連絡事項について情報共有
花月地区R会議	1月25日 2月26日 3月29日	15:45～ 17:00 15:30～ 16:45	7名 7名 7名	構成メンバー 旭・木村・岡本・吉田・長田・真鍋・高桑	・両事業所間の連絡事項や案件について情報共有
職員会議	1月24日 2月25日 3月25・ 27日	16:05～ 17:10 16:05～ 17:00 16:00～ 18:20	11名 9名 10名	構成メンバー 長田・真鍋・高桑・河村・伊藤・山本・原田・二川・高崎・池野・泉谷	・全体で共有すべき議題について話し合う ・次月以降の予定の確認

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
感染対策委員会	1月8日 2月12日 3月12日	10:00～ 10:30 10:00～ 10:30 10:00～ 10:40	6名 8名 8名	構成メンバー 旭、本田、吉田、矢館、熊倉、長田、真鍋、入井、古島、高山	感染症の情報共有（事業所、地域等） 感染予防対策の進捗状況確認 その他
虐待防止委員会	1月24日 2月25日 3月25日	17:38～ 17:40 17:00～ 17:15 18:00～ 18:05	11名 9名 10名	構成メンバー 長田、真鍋、高桑、河村、伊藤、山本、原田、二川、高崎、池野、泉谷	虐待、なりえる支援について職員行動基準から改めて普段の支援言動を振り返る
苦情解決委員会	1月24日 2月25日 3月25日	17:40～ 17:47 17:15～ 17:25 18:05～ 18:10	11名 9名 10名	構成メンバー 長田、真鍋、高桑、河村、伊藤、山本、原田、二川、高崎、池野、泉谷	相談、苦情が起きていないということは日常の支援のなかで対応できているとしても、改めて普段の支援言動を振り返る
事故予防委員会	1月24日 2月25日 3月25日	17:47～ 18:00 17:25～ 17:30 18:10～ 18:20	11名 9名 10名	構成メンバー 長田、真鍋、高桑、河村、伊藤、山本、原田、二川、高崎、池野、泉谷	事故発生を検証、ヒヤリハットの振り返りを行い改めて普段の支援のなかで予防策を講じていく

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
第三者委員会	3月8日	13:00～ 16:00	9名	竹原事務局長、山崎総務課長、土岐事業課長、後藤管理者、土佐管理者、旭管理者、古島管理者、木村主任、長田 (第三者委員)	前回から開催日までに挙げた虐待案件、苦情相談案件、事故発生案件等について報告、第三者からの意見や評価 中央地区の事業所内（グループホーム、フレーバー）を見て回り、改善箇所の点検を実施 ※改善箇所は次回報告

平成30年度 (事業所名: 生活介護事業所ひかり)

研修 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
虐待未然防止内部研修会	1月11日	ひかり活動室1	16:25～17:50	10名	管理者 長田	福祉施設等における権利擁護と虐待防止
防災に係る内部研修会	1月24日	ひかり活動室1	17:10～17:35	11名	管理者 長田	災害時における避難計画の復習
平成30年度地域共生社会実現フォーラム	2月15日	表参道ヒルズ地下3階スペースオー	13:30～18:30	1名	はっぴーの家ろっけん 代表 首藤義敬氏 ReDO 代表 藤岡聡子氏 池田博愛会 事務局 岡 千賀子氏 サンフェイス 代表 久田亮平氏 グランドレベル 代表 田中元子氏	全国各地で地域共生社会実現のために奮闘されている方々の取り組みや考え方を聞き、自分たちの地域に持ち帰って「できること」を始めるキッカケづくり
平成30年度相談支援従事者研修(サビ管向け)	2月19日 ～ 2月20日	北海道自治労会館	9:20～17:30 9:30～16:30	1名	多数	利用者本人主体の相談支援、チーム力の向上に欠くことのできないケアマネジメントを中心に、サービス管理責任者として活躍するための資格要件研修
平成30年度全道施設長研修会	2月21日 ～ 2月22日	京王プラザホテル札幌	13:00～17:00 9:30～11:30	1名	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 主幹 菊地みさき氏 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐 福島弘和氏 社会福祉法人滝乃川学園 常務理事 米川覚氏	行政説明Ⅰ ・受動喫煙防止対策について 行政説明Ⅱ ・障害保健福祉施策の動向について 北歩～塾 ・滝乃川学園 石井亮一と日本知的障害者福祉協会を学ぶ

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名： 花月地区 ホームピンネ)

(全体総括)

大幅な人員配置変更の年であったが、各棟主任と管理者との間での連携が図れ、目的意識を持ちながらチーム連携がとれた。その目的意識とは、利用者支援に対し、『考える事』・『なぜその支援が必要なのか』・『思いに寄り添うとは』・『アセスメント力』について、個人で抱え込まず、各棟での話し合い(ケース会議等)が行えた。その事により、支援員・世話人の不安感が幾分か解消された。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	空床0	満床(57名)	満床(利用人数57名)	49名⇒53名(+4名)
顧客の視点	個別支援計画の策定	担当者が作成できるよう個別指導の実施	100%(全利用者作成)	作成は、サービス管理責任者が実施しており、担当者個々での作成には至っていない。
内部プロセスの視点	人事考課	全職員との面談実施	年3回個別面談の実施	年3回実施出来た。次年度も継続して、年3回実施する事とする。
	内部研修の実施	テーマに沿った内部研修の実施	年6回実施	4回実施。不定期開催となっていた為、次年度は、5,7,9,11,1,3月の計6回実施する。(次年度予定表に盛り込み済み)
人材と変革の視点	外部研修参加	研修参加後のフィードバック	全職員年1回以上の参加	支援員に関しては全員参加 世話人対象の研修は参加出来なかった。
	業務手順書	現状に合った、業務手順書の作成	業務手順書の完成	個別支援の意識改革を進めている為、一時中止している。

決算状況 (4月～3月) 花月ピンネ

収入	H29	H30
事業活動収入計	144,376,031	160,739,566
施設整備等収入計	0	1,435,445
その他の活動収入計	512,172	9,983,052

支出	H29	H30
事業活動支出計	108,476,259	115,407,776
施設整備等支出計	7,271,720	8,325,484
その他の活動支出計	25,473,100	41,979,610

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	35,899,772	45,331,790
施設整備等資金収支差額	-7,271,720	-6,890,039
その他の活動資金収支差額	-24,960,928	-31,996,558

平成30年度（事業所名：花月ホームピンネ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
みらい棟会議	1月29日 2月27日 3月28日	14:30～ 16:30 14:30～ 16:30 14:30～ 16:30	13名	旭・本田・木村・徳廣・矢館・安部・吉田裕・仲村・福士・久米・菅原・浦辻・田垣	みらい棟内の利用者状況の確認（個別ケース含む） 法人内動向確認 来月の予定 余暇活動の検討 花月ホームピンネ内の協力体制について
ぼえむ棟会議	1月25日 2月26日 3月26日	9:30～10:30 9:30～10:30 9:30～10:30	10名	旭・岡本・後藤・小林・三ヶ山・田中・前谷津・池田・佐藤逸・佐藤博	ぼえむ棟内の利用者状況の確認（個別ケース含む） 法人内動向確認 来月の予定 余暇活動の検討 花月ホームピンネ内の協力体制について
らいむ棟会議	1月31日 2月28日 3月25日	9:30～10:30 9:30～10:30 9:30～10:30	7名	旭・吉田佳・熊倉・坂本・押野・新保・松下	らいむ棟内の利用者状況の確認（個別ケース含む） 法人内動向確認 来月の予定 余暇活動の検討 花月ホームピンネ内の協力体制について
ホームピンネリーダー会議	1月11日 2月8日 3月1日 3月15日	13:00～ 14:30 13:00～ 14:30 13:00～ 14:30 13:30～ 15:00	4名	旭・木村・岡本・吉田佳	事業計画の確認 問題事項の確認 事業所間の協力体制について 次年度に向けての打合せ
花月リーダー会議	1月25日 2月26日 3月29日	15:30～ 17:00 15:30～ 17:00 15:30～ 17:00	7名	旭・木村・岡本・吉田佳 長田・高桑・真鍋	花月区の障がいグループの協力体制について 問題・課題事項の確認

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
苦情解決委員会	1月16日 2月12日 3月13日	13:00～ 13:30 13:00～ 13:30 13:00～ 13:30	6名 6名 5名	木村・岡本・吉田・本田・熊倉・野尻・旭 岡本・仲村・熊倉・野尻・旭 木村・岡本・吉田・矢館・安部・熊倉 本田・旭	苦情案件の確認 改善方法についての検討 苦情報告書の確認及び作成方法についての周知

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
虐待防止委員会	1月16日	13:30～	6名	木村・岡本・吉田・本田・熊倉・野尻・旭	虐待案件の確認 虐待防止活動についての周知 権利擁護の関する、勉強会の開催
	2月12日	14:00	6名	岡本・仲村・熊倉・野尻・旭	
	3月13日	13:30～ 14:00 13:30～ 14:00	5名	木村・岡本・吉田・矢館・安部・熊倉 本田・旭	
感染症委員会	1月8日	10:00～	10名	旭・本田・吉田・熊倉 長田・真鍋・入井 古島・高山	感染マニュアルの作成及び周知 内部研修の実施 事業所間の連携方法についての検討
	2月12日	11:00			
	3月12日	10:00～ 11:00 10:00～ 11:00			

平成30年度 (事業所名：花月ホームピンネ)

研修 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
『避難確保計画作成の手引き』セミナー	1月30日	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	14:00～17:00	1名	あいおいニッセイ同和損害保険(株)マーケット開発部 堀江 健氏	「避難確保計画」作成の手引き
平成30年度 全道施設長研修会	2月21日 ～ 2月22日	京王プラザホテル札幌	15:00～17:20 9:30～11:30	1名	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 社会参加グループ主幹 加藤 直樹氏 他	『受動喫煙防止対策について』 『障害保健福祉施策の動向について』
「30年度 宿泊幹事会」	3月7日～ 3月8日	美唄市 ピパの湯ゆーりん館	9:30～17:00 9:30～12:00	1名	空知知的しょうがい福祉協会会長 三戸部 隆 氏 他	空知知的しょうがい協会の在り方について 次年度の幹事会の進め方について

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名: 中央地区 ホームピンネ)

(全体総括)

今期の事業所最大の目標であった『組織体制の改善・ルールの整理』は計画的に実施でき、ある程度の組織体制作りはできた。

しかし、春先に町内にNPO法人が設立し数名の利用者の異動もあったことから登録数と支援費収入が減った。また、老朽化したびんね・わかば棟の廃止に伴い、花月GHと中央GH内での異動も計画通りに行った。課題としては、異動のあった利用者分で新規2名は増えたが、目標値の空所0には届かなかった事や対応困難な利用者など現場職員で解決する事が難しく、職員育成が急務となった為、次年度は今年度の目標も継続しつつ職員育成を組織一丸となって力を入れる。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	空所0	・利用者特性にあったGH毎に住み分けし、GH利用者を明確にする。 ・相談支援事業所との連絡調整 ・びんね、わかばの方向性を決定する。	入居定員25名満室	入居定員24名
顧客の視点	利用者のニーズに沿った余暇支援	・支援者、利用者と一緒に相談し、想いに沿った余暇活動を実施	登録利用者全員 1人1回(24人)	全利用者達成
内部プロセスの視点	事業所ルールの整理と体制の見直し	・状況に応じ、マニュアルの更新 ・都度、不具合だった場合に協議し、事業所内規則や体制、マニュアルを変更する。	20項目	21項目
人材と変革の視点	外部研修の参加	・職員から行きたい研修へ参加してもらう。 ・必要と思える研修への参加の促し ・研修後、内部研修会の実施	全職員年1回以上	週40時間職員8名全員が参加 ※研修に参加するだけでなく、定期的に現場へフィードバックし参加した職員が講師になり内部研修会を行った。

決算状況 (4月～3月) 中央ピンネ

収入	H29	H30
事業活動収入計	77,166,786	67,794,575
施設整備等収入計	3,692,597	7,708,585
その他の活動収入計	8,347,677	11,538,160

支出	H29	H30
事業活動支出計	55,508,234	55,037,686
施設整備等支出計	15,087,797	20,759,305
その他の活動支出計	16,232,019	16,532,602

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	21,658,552	12,756,889
施設整備等資金収支差額	-11,395,200	-13,050,720
その他の活動資金収支差額	-7,884,342	-4,994,442

平成30年度（事業所名：中央ホームピンネ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
モニタリング事前会議	1月7日	13:00～ 14:00	3名	後藤・森川・野田	<議題①> 各利用者の8月～1月の状況と課題について <結果①> 支援の方向性を協議した結果、担当支援員が主に支援を行い、周りのスタッフが統一で対応し事業所としてフォローする。
モニタリング会議	1月9日	15:00～ 16:00	3名	後藤・森川・戸田	<議題①> 各利用者の8月～1月の状況と課題について <結果①> 支援の方向性を協議した結果、担当支援員が主に支援を行い、周りのスタッフが統一で対応し事業所としてフォローする。
モニタリング事前会議	1月11日	13:00～ 14:00	3名	後藤・森川・野田	<議題①> 各利用者の8月～1月の状況と課題について <結果①> 支援の方向性を協議した結果、担当支援員が主に支援を行い、周りのスタッフが統一で対応し事業所としてフォローする。
職員全体会議	1月15日	13:00～ 14:30	8名	後藤・森川・梶川・戸田・小林・野田・得地・高桑	<議題①> びんね・わかば引越しについて <結果①> 引越しの手順などを確認して、当日の引越しや廃棄処分など各職員が動きを把握する。
I氏ケース会議	1月22日	10:30～ 11:30	4名	ご本人・相談(小林)・後藤・高桑	<議題①> 通所について <結果①> GH生活の中で他事業所を自己都合で辞めてしまった為、今後、本人が希望する就労場所を本人を交えて協議する。
Y氏ケース会議	2月8日	13:30～ 15:00	4名	相談員(小林)・土佐 森川・戸田	<議題①> 1月より通所できない事について <結果①> GH生活の中で他利用者間及び通所側での特定利用者との関係性により継続して通所できていないので、まずはGH利用者間のトラブルを解決し、様子観察し通所を促す。
職員全体会議	2月28日	13:00～ 14:00	8名	後藤・森川・梶川・戸田・得地・野田・高桑・小林	<議題①> GHすまいる入浴時間と食堂開閉時間について <結果①> 食堂開閉時間・入浴時間を利用者が理解できるように提示し、利用者同士のトラブルを防ぐよう支援する。 <議題②> 土日の整容支援について <結果②> 担当毎に所定の整容面の様式を活用し、整容支援を強化し支援する。

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
世話人全体会議	3月27日	14:00～ 15:30	5名	後藤・大井・我妻・岩井・中本	<p><議題①> 各棟より報告について</p> <p><結果②> 課題について改善にむけて実施する。</p>
職員全体会議	3月28日	13:00～ 15:00	9名	後藤・森川・梶川・戸田・得地・野田・高桑・小林・木村	<p><議題①> 各提出期限について</p> <p><結果①> 現状提出期限を守られていない職員がいるため、改めて遵守するよう周知する。</p> <p><議題②> 献立表作りについて</p> <p><結果②> 世話人不在時の食事提供は職員が完全に調理する。ローテーションで月毎に担当支援員が責任をもって作成する。</p> <p><議題③> 次年度のプレゼン</p> <p><結果③> H31事業計画を説明し、次年度に向け各支援員が実施する事を明確化した。</p>

委員会 (1月～3月)

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
感染対策委員会	1月18日	13:00～ 13:30	4名	後藤・梶川・野田・高桑	<p><議題①> 先月の各委員の実践報告</p> <p><結果①> 実践報告内容を確認し、未実施部分について再度、次月の実践の指示。</p> <p><議題②> インフルエンザ予防について</p> <p><結果②> 継続してインフルエンザが流行している為、各棟の利用者への手洗い、手指消毒、各棟感染予防を実施する。</p>
虐待防止委員会 苦情解決委員会	1月28日	14:30～ 15:30	7名	後藤・森川・梶川・戸田・小林・得地・高桑	<p><議題①> 1月の虐待案件報告、苦情案件報告</p> <p><結果①> 虐待案件報告、苦情案件報告0件だったが、今後も継続し苦情に繋がらぬよう利用者の障がい特性を把握し配慮した支援をする。</p>
感染対策委員会	2月18日	10:30～ 11:30	5名	後藤・森川・得地・戸田・野田	<p><議題①> 先月の各委員の実践報告</p> <p><結果①> 実践報告内容を確認し、未実施部分について再度、次月の実践の指示。</p> <p><議題②> 週末のGH各棟掃除などについて</p> <p><結果②> 当日の宿直明けで出来ていない部分などは、土日の勤務者で引継ぎ掃除を実施し協力する。</p>

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
虐待防止委員会 苦情解決委員会	2月28日	14:30～ 15:00	8名	後藤・森川・梶川・戸田・小林・得地・野田・高桑	<議題①> 2月の虐待案件報告、苦情案件報告 <結果①> 虐待案件報告、苦情案件報告0件だったが、今後も継続し苦情に繋がらぬよう利用者の障がい特性を把握し配慮した支援をする。
感染対策委員会	2月18日	13:30～ 15:00	5名	森川・野田・得地・戸田・木村	<議題①> 中央GHインフルエンザ・ノロウイルス感染時のレベル対応について <結果①> かおる園の感染症状況対応マニュアルを参照する。中央GHも各感染症に対するレベル状況に合わせた対応マニュアルの必要性を合意し、次回、基本案については看護師が作成し、3月の感染委員会で内容を確認する事となる。
第4回びあよしのサービス向上委員会	3月8日	13:00～ 15:00	11名	竹原事務局長・土岐事業課長・山崎総務課長・第三者委員3名・後藤・土佐・旭・長田・古島	<議題①> 各事業所の苦情・事故報告について <結果①> 1月～3月に起きた各事業所の苦情・事故内容とその後の対応説明 <議題②> 中央地区GH及び法人本部給食事業所危険箇所点検の実施 <結果②> 第三者委員より指摘された部分について、修繕などを行い対応する。
虐待防止委員会 苦情解決委員会	3月28日	14:40～ 15:00	8名	後藤・森川・梶川・戸田・小林・得地・野田・高桑	<議題①> 3月の虐待案件報告、苦情案件報告 <結果①> 虐待案件報告、苦情案件報告0件だったが、今後も継続し苦情に繋がらぬよう利用者の障がい特性を把握し配慮した支援をする。 <議題②> 特定利用者の苦情について <結果②> 苦情BOXには投函せずに直接、支援員へ訴えてくる苦情は、特定利用者本人の障がい特性による過干渉が原因である為、苦情内容によって振り分けを行い対応する。

年度事業 (1月～3月)

事業名	開催日	時間	全体参加数	参加者	内容
神社参拝外出	1月1日	10:00～ 11:00	8名	利用者8名	新年を迎え、冬の風物詩
びんね・わかば引っ越し ※花月GH Hっへ異動及び中央地区区内での調整	1月17日	9:00～17:30	7名	引越し利用者7名 職員 5名	GHびんね・わかば棟廃止に伴う花月GH及び中央GH内での引っ越し

事業名	開催日	時間	全体参加数	参加者	内容
権利擁護伝達研修	2月12日	14:00～ 15:00	8名	後藤・森川・野田・戸田・得地 高桑・梶川・木村	権利擁護の定義、事例検討内容等 実習：グループワーク
アンガーマネジメント内部研修会	2月28日	14:00～ 15:00	7名	後藤・森川・野田・戸田・得地・ 高桑・梶川	・アンガーマネジメントとは？怒りの性質、怒りのコントロール方法 ・アンガーマネジメント診断等
避難訓練(GHさつき)	3月5日	17:00～ 17:30	10名	職員 5名 利用者 5名	夜間を想定した各棟における避難訓練を実施。
社福) 愛和福祉会 きらり、星の広場事業所見学	3月15日	10:00～ 12:00	8名	後藤・森川・野田・戸田・得地・ 高桑・梶川・木村	・他事業所のGH体制や仕組みなどを参考にし、見聞を広める

平成30年度 (事業所名：中央ホームピンネ)

研修 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
全道グループホーム研修	1月25日	かでの2・7	9:30～17:00	2名	鶴田弥生氏	・メンタルヘルスの基礎知識 ・ストレスの正しい理解他
全道グループホーム等スタッフ研修会	1月25日	かでの2・7	10:00～15:00	1名	福山桂子氏他2名	・普通の生活を支える仕事の難しさ ・グループホームは今
『避難確保計画作成の手引き』セミナー	1月30日	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	14:00～17:00	1名	あいおいニッセイ同和損害保険(株)マーケット開発部 堀江 健氏	「避難確保計画」作成の手引き
H31年度全道施設長研修会	2月21日 ～ 2月22日	京王プラザ	13:00～17:00 9:30～11:30	1名	菊池みさき氏他2名	・受動喫煙防止対策について ・障害保健福祉政策の動向について ・滝乃川学園 石井亮一と日本知的障害福祉協会

平成30年度

利用者数推移

(4月～3月)

事業所名	中央ホームピンネ
------	----------

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数(人)	H29	960	992	960	992	992	960	992	960	992	992	896	992	11,680
	H30	960	930	870	806	806	780	806	780	837	837	672	744	9,828
延利用人数(人)	H29	922	927	919	970	961	946	971	919	936	919	849	927	11,166
	H30	889	858	779	739	787	732	793	773	800	809	662	728	9,349
稼働率(%)	H29	96.0%	93.4%	95.7%	97.8%	96.9%	98.5%	97.9%	95.7%	94.4%	92.6%	94.8%	93.4%	95.6%
	H30	92.6%	92.3%	89.5%	91.7%	97.6%	93.8%	98.4%	99.1%	95.6%	96.7%	98.5%	97.8%	95.3%
収入(千円)	H29	6,448	6,393	5,908	6,616	6,568	6,500	6,655	6,438	7,130	6,419	5,291	6,793	77,159
	H30	6,223	6,747	4,838	5,593	5,608	5,526	5,895	5,628	5,744	5,753	4,901	5,332	67,788
収入差額(千円)		-225	354	-1,070	-1,023	-960	-974	-760	-810	-1,386	-666	-390	-1,461	-9,371

※5.6月で他NPO法人へ4名の異動があり、稼働率及び収入の減少。1月中旬、びんね・わかば廃止により花月GHへ3名異動

職員数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	正規	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	有期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	パート	5	6	6	5	5	5	5	5	5	5	6	6	64

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名: フレーバーカントリー)

(全体総括)

平成30年度は報酬改定に伴う年度内の一般就労者の実績が問われる年度とスタートしたが、一般就労者1名を輩出し平成31年度の減算は免れることができた。事業総括としては、町内に新たにできた事業所への利用者異動等もありサービス費は減となったが、就労支援事業においては給食事業の実績が良く利用者への工賃も昨年度水準で支給することができた。平成31年度においては給食事業に付随する新規事業を展開していく中で新たなフレーバーカントリーとし事業を行っていきけるよう努力したい。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	収入予算執行率	計画にあった収入、各月の実績の確認	100%以上	90.20%
	支出予算執行率	計画にあった支出、各月の実績の確認	100%以上以下	100.80%
顧客の視点	利用者平均工賃	目標就労支援事業収入をクリア	20,500円/月	20,097円/月
	働きたい事業所	モニタリングを実施し満足度を調査	作業への不満0件	0件
内部プロセスの視点	製造・販売計画	4半期ごとの収支の確認	予算の達成	就労支援会計570,000円の黒字 3月に工賃とし支給
	個別支援の実施	計画に合った就労メニューの提供	個別支援実施100%	個別支援実施100%
人材と変革の視点	能力開花	年度内に新たな事へ1つ挑戦する	1人1つの挑戦	1人1つの新たな挑戦ができた
	アセスメント	必要があれば随時実施し、利用者をコーディネート	年2回実施	9月、3月に実施

決算状況 (4月~3月)

食品加工・販売

収入	H29	H30
事業活動収入計	26,518,729	26,149,711
施設整備等収入計	378,000	0
その他の活動収入計	1,022,694	1,284,014

決算状況 (4月~3月)

農業委託

収入	H29	H30
事業活動収入計	20,864,270	18,154,261
施設整備等収入計	47,230	0
その他の活動収入計	2,436,048	788

決算状況 (4月~3月)

給食

収入	H29	H30
事業活動収入計	15,704,504	16,669,076
施設整備等収入計	0	975,043
その他の活動収入計	1,014	151,014

支出	H29	H30
事業活動支出計	27,344,649	28,455,780
施設整備等支出計	1,372,740	502,260
その他の活動支出計	2,123,400	1,696,000

支出	H29	H30
事業活動支出計	17,234,769	17,084,454
施設整備等支出計	2,572,100	251,220
その他の活動支出計	1,545,980	1,798,000

支出	H29	H30
事業活動支出計	15,930,569	16,090,920
施設整備等支出計	83,880	1,215,163
その他の活動支出計	791,800	2,413,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	-825,920	-2,306,069
施設整備等資金収支差額	-994,740	-502,260
その他の活動資金収支差額	-1,100,706	-411,986

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	3,629,501	1,069,807
施設整備等資金収支差額	-2,524,870	-251,220
その他の活動資金収支差額	890,068	-1,797,212

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	-226,065	578,156
施設整備等資金収支差額	-83,880	-240,120
その他の活動資金収支差額	-790,786	-2,261,986

平成30年度（事業所名： フレーバーカントリー ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
職員会議	1月25日	17:00～ 17:30	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	議題→結果 12月実績の確認 次月予定確認 利用者個別ケース確認
	2月25日	17:00～ 17:30	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	議題→結果 1月実績の確認 次月予定確認 利用者個別ケース確認
	3月26日	17:00～ 17:30	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	議題→結果 2月実績の確認 次月予定確認 利用者個別ケース確認

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
苦情解決委員会	1月25日	17:30～ 17:45	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	12月中の相談苦情案件の報告 サービス管理責任者からの助言・指導等
	2月25日	17:30～ 17:45	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	1月中の相談苦情案件の報告 サービス管理責任者からの助言・指導等
	3月26日	17:30～ 17:45	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	2月中の相談苦情案件の報告 サービス管理責任者からの助言・指導等
虐待防止委員会	1月25日	17:45～ 18:00	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	12月中の虐待案件の報告 サービス管理責任者からの助言・指導等
	2月25日	17:45～ 18:00	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	1月中の虐待案件の報告 サービス管理責任者からの助言・指導等
	3月26日	17:45～ 18:00	9名	土佐・南部・山本・千葉・佐藤・柳浦・桑内・笹原・寺下	2月中の虐待案件の報告 サービス管理責任者からの助言・指導等

平成30年度 (事業所名： フレーバーカントリー)

研修 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
平成30年度幹部職員研修	1月16日 ～1月17日	札幌市	13:00～12:00	1名	湯浅民子 石井隆 他	「向陽園湯浅正邦氏について」 「触法障がい者の支援」
平成30年度全道施設長研修	2月21日 ～2月22日	札幌市	13:00～12:00	1名	菊池みさき 福島弘和 他	「受動喫煙防止対策」 「行政説明」

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名: きつずでい ここ)

(全体総括)

29年度から力を入れて行ってきた個別課題及びSSTプログラムについて、実践の様子を写真や動画におさめていきながら、振り返りや評価、その後の実践方法を会議内で話し合いを進めた結果、特定の職員だけではなく、事業所の職員全員でお子さんに対して実践することが出来た。保護者との面談を増やし、子どもたちの活動の様子を、写真だけではなく動画などを見て頂いたり、茶話会などの場面においても動画を活用できたので、保護者からの反響は大きかった(具体的に分かりやすく良かったなど)
他事業所とも交流が増え、事業所の取り組みを知ってもらえる機会が増えた。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	安定した利用の確保をする	月延べ人数200人	2,400人	2,156人
	新規の利用者に年間を通して継続して利用してもらう	新規利用者年間継続数 5名	5名	5名
顧客の視点	保護者からの意見を聞く機会を増やし顧客のニーズを知る	①全保護者さんとの面談 ②アンケート調査	①年2回 ②年2回	①、②とも2回実施
内部プロセスの視点	全スタッフが子どもたちの個別課題SSTプログラムが実施出来る	①個別課題の実施者数 ②SSTの実施者数	職員 6人	①、②とも職員6人
人材と変革の視点	他事業所との情報交換や交流事業を増やす	他事業所との勉強会の開催	年3回	8月、11月、2月 年3回実施

決算状況 (4月～3月) 放課後等デイサービスきつずでいここ

収入	H29	H30
事業活動収入計	22,885,458	23,130,566
施設整備等収入計	0	40,000
その他の活動収入計	805	3,030,805

支出	H29	H30
事業活動支出計	20,049,171	21,731,258
施設整備等支出計	284,040	3,241,742
その他の活動支出計	1,551,000	2,127,470

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	2,836,287	1,399,308
施設整備等資金収支差額	-284,040	-3,201,742
その他の活動資金収支差額	-1,550,195	903,335

平成30年度（事業所名： きっずでいここ ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
職員会議	1月22日	12:00～ 13:30	5名	古島・高山・畑・ 加藤・上口	<議題> 個別課題の検討と今後の児童の対応 <結果> 定期的に課題の状況を動画に収め、会議内で検討していく
	2月15日	12:00～ 13:30	7名	古島・高山・畑・ 荒川・加藤・上 口・池端	<議題> 春休みに向けての対応 <結果> 春休みになると受け入れが減ることが見込まれているため、レクやイベントなどを実施し受け入れを増やしていく
	3月20日	12:00～ 13:30	6名	古島・高山・畑・ 加藤・上口・池端	<議題> 新年度からの1年生の対応について <結果> 支援センターや保育園、幼稚園からの事前情報の共有を行っていきながら新年度からは会議などを増やし、子どもたちの対応を考えていく

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
感染対策委員会	1月8日	10:00～	6名	旭・本田・吉田・ 矢館・熊倉・長 田・真鍋・入井・ 古島・高山	感染症の情報共有（事業所、地域等） 感染予防対策の進捗状況確認 その他
	2月12日	10:30	8名		
	3月12日	10:00～ 10:30 10:00～ 10:40	8名		
虐待防止委員会	1月22日	12:00～	5名	委員会メンバー 古島・高山・上 口・加藤・荒川・ 畑・池端	虐待案件の有無の確認 現場での対応の振り返り その他
	2月15日	12:30	7名		
	3月20日	12:00～ 12:30 12:00～ 12:30	6名		
苦情解決委員会	1月22日	12:30～	5名	委員会メンバー 古島・高山・上 口・加藤・荒川・ 畑・池端	家族様からの意見などの確認 今後の検討事項の確認 その他
	2月15日	13:00	7名		
	3月21日	12:30～ 13:00 12:30～ 13:00	6名		

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
第三者委員会	3月8日	13:00～ 16:00	9名	竹原事務局長・山崎総務課長・土岐事業課長・後藤管理者・土佐管理者・旭管理者・長田管理者・木村主任・古島 (第三者委員)	前回から開催日までに挙げた虐待案件、苦情相談案件、事故発生案件等について報告、第三者からの意見や評価 中央地区の事業所内（グループホーム、フレイバー）を見て回り、改善箇所の点検を実施 ※改善箇所は次回報告

年度事業（1月～3月）

事業名	開催日	時間	全体参加数	参加者	内容
茶話会	1月23日	10:00～ 12:00	11名	作業療法士1名 事業所職員5名 保護者5名	講話テーマ「学童期の子どもの関わり方について～低学年編」
	3月6日	10:00～ 12:00	12名	作業療法士1名 事業所職員4名 保護者7名	講話テーマ「学童期の子どもの関わり方について～高学年編」

平成30年度 (事業所名: きっずでいここ)

研修 (1月~3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
平成30年度 全道施設 長研修会	2月21日 2月22日	京王プラザホテル 札幌	13:30~17:30 9:00~12:30	1名	厚生労働省社会 ・援護局障害保健 福祉部 障害福祉課 課長 補佐 福島 弘 他	障害保健福祉施策の動向に ついて 他

平成30年度

利用者数推移

(4月～3月)

事業所名	きつずでい ここ
------	----------

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数(人)		220	220	220	220	220	210	220	220	220	210	210	220	2,610
延利用人数(人)	H29	170	179	178	187	170	190	179	179	158	144	147	162	2,043
	H30	188	209	145	189	172	156	205	195	165	160	176	196	2,156
稼働率(%)	H29	77.3%	81.4%	80.9%	85.0%	77.3%	90.5%	81.4%	81.4%	71.8%	68.6%	70.0%	73.6%	78.3%
	H30	85.5%	95.0%	65.9%	85.9%	78.2%	74.3%	93.2%	88.6%	75.0%	76.2%	83.8%	89.1%	82.6%
収入(千円)	H29	1,914	1,983	1,944	2,114	1,991	2,087	1,983	1,967	1,691	1,741	1,629	1,838	22,882
	H30	1,988	2,168	1,664	2,125	1,886	1,886	2,144	2,054	2,144	1,725	1,840	1,831	23,455
収入差額(千円)		74	185	-280	11	-105	-201	161	87	453	-16	211	-7	573

職員数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	正規	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	有期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パート	6	6	6	6	7	7	7	7	6	7	7	7	79

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名： 相談支援事業所 虹)

(全体総括)

今までの相談支援事業所 虹では、利用者の特徴に合わせたサービスの調整をする、計画相談支援(マスタープランの作成)を中心に作成していた事業所であったが、今年度に関しては、基幹相談支援センターの役割を意識し活動した1年間であった。
実績としては、地域向けの勉強会を開催することにより、地域住民や各関係機関とのつながりも強化することができた。また、新十津川町とも連携が取れ、次年度の委託料も増額となるきっかけになった年だった。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	収入を増やす	・加算取得額 (特別地域加算は除く)	・児童相談 1,000,000円 ・計画相談 1,000,000円	・児童相談 656,550円 ・計画相談 1,004,850円
顧客の視点	利用者へのわかりやすい情報提供ができる	・事業所フェイスシートの作成	・40事業所作成	・55事業所作成
	障害児者の住みやすい町をつくる	・自立支援協議会の立ち上げ	・自立支援協議会開催	・自立支援協議会の事前連絡会のまで行えた。
内部プロセスの視点	障害福祉の理解と連携を深める	・基幹相談支援センター連絡協議会への参加 ・新十津川町と打合せ ・地域向け勉強会を実施する	・年4回 ・年12回 ・年1回	・年4回 ・年12回 ・年1回
人材と変革の視点	幅の広い相談に応じられる力をつける	・強度行動障害支援者養成研修 ・医療ケア児等コーディネーター養成研修 ・精神障害者の地域生活研修	・受講する	・医療ケア児等コーディネーター養成研修のみ受講できていない。
		・勉強会の実施 (滝川こども発達支援センターといんぐとの合同勉強会)	・4回	・5回

決算状況 (4月～3月) 相談支援事業所

収入	H29	H30
事業活動収入計	13,735,640	14,209,494
施設整備等収入計	15,821	0
その他の活動収入計	6,100,965	6,720,965

支出	H29	H30
事業活動支出計	14,588,851	15,045,301
施設整備等支出計	1,304,120	1,931,640
その他の活動支出計	7,431	4,000,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	-853,211	-835,807
施設整備等資金収支差額	-1,288,299	-1,931,640
その他の活動資金収支差額	6,093,534	2,720,965

平成30年度（事業所名：相談支援事業所 虹）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
相談員打ち合わせ	1月 8.22.29日 2月 8.18.25日 3月 5.26日	9:00～10:00	4名	古島・小林・大櫛・土岐	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ケースの報告と進捗の確認 ・プラン更新、モニタリングの進捗状況の確認 ・各ケースの動向確認 ・サービス提供事業所に関する情報の共有 ・基幹相談支援センター、自立支援協議会の運営について ・研修報告について ・苦情解決・虐待防止について
保健福祉課連携会議	1月8日 2月8日 3月5日	10:00～ 11:00	6名	保健福祉課：向井 グループ長・池田 主査 虹：古島・小林・ 大櫛・土岐	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン更新、モニタリングの進捗状況と動向の報告 ・基幹相談支援センターの動向について ・自立支援協議会の動向について
自立支援協議会事前連絡会	3月18日	10:00～ 16:40	3名	保健福祉課：池田 主査 虹：古島・土岐	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会に向けての調査

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
虐待防止委員会	1月29日 2月25日 3月26日	9:30～10:00	4名	古島・小林・大櫛・土岐	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止について 虐待の情報を確認する。 (結果：10月、0件 11月、0件 12月、0件)
苦情解決委員会	10月30日 11月15日 12月18日	9:30～10:00	4名	古島・小林・大櫛・土岐	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決について 苦情の情報を確認する。 (結果：10月、0件 11月、0件 12月、0件)

平成30年度

(事業所名：相談支援事業所 虹)

研修

(1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
滝川こども発達支援センター・イングとの勉強会	1月17日	滝川こども発達支援センター	9:30～12:00	3名	滝川こども発達支援センター 事例検討会	困難事例について
発達障害者地域支援推進事業	2月1日	北海道庁別館地下1階大会議室	13:30～16:30	1名	北海道福祉課講師	発達障害者地域支援推進について
相談支援従事者研修前期	2月19～ 2月20日	北海道自治労会館 5F大ホール	9:00～17:00	1名	北海道地域ケアマネジメントネットワーク 登録講師	相談支援従事者の基本知識と情報共有
基幹相談支援センター連絡協議会	2月22日	富良野地域生活支援センター	13:30～16:00	3名	富良野地域生活支援センター 講師	基幹相談支援センターの取り組みについて
相談支援従事者研修後期	2月26～ 2月28日	かでの2・7 820研修室	9:00～17:00	1名	北海道地域ケアマネジメントネットワーク 登録講師	相談支援従事者の基本知識と情報共有

